

令和 8（2026）年度 A-LAB Artist Gate' 26 出展アーティスト募集要項

1 趣旨

尼崎市が運営するアートスペース「A-LAB」において、新鋭アーティスト発信プロジェクト「A-LAB Artist Gate' 26」を開催します。

本プロジェクトは、今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展として毎年開催しているもので、令和 8(2026)年春に大学・専門学校を卒業予定、または大学院を修了予定の方を対象とします。

平成 28(2016)年に初開催して以来、これまで 66 人のアーティストを紹介してきました。本展が若手アーティストたちの本格的な作家活動の一步となり、今後大きく羽ばたいていくことを期待します。

2 対象者

令和 8(2026)年の春に、関西(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県)の大学や専門学校、大学院の芸術分野を卒業・修了予定で、今後もアーティスト活動を継続希望の方

3 選考方法

公募による候補者の中から選考員による選考会を行い、出展アーティストを決定。選考結果はメールにて通知。(5 名程度)

<選考員プロフィール>

林勇気 アーティスト / 映像作家

膨大な量の写真をコンピューターに取り込み、切り抜き重ね合わせることでアニメーションを制作。自ら撮影した写真のほか、人々から提供された写真やインタビューを素材とした制作により、デジタル・メディアやインターネットを介して行われるコミュニケーションや記憶のあり方を問い直す。

近年の主な展覧会に、『2023 年コレクション展 I 虚実のあわい』兵庫県立美術館(兵庫/2023)、『特別展 境界をこえる』徳島県立近代美術館(徳島/2023)、『M+ at Night: Seen and Unseen』M+(香港/2023)、『個展「君はいつだって世界の入り口を探していた」』クリエイティブセンター大阪(大阪/2022)、『テールズアウト』大阪中之島美術館(大阪/2022)、『デザインスコップ - のぞく ふしぎ きづく ふしぎ』富山県美術館(富山/2022) 他多数。

※ A-Lab Exhibition Vol.12 『あなたが [] ほし い i want you [to x]』(2018) 出展作家

大槻晃実 芦屋市立美術博物館学芸員

芦屋市立美術博物館学芸員。専門は近現代美術。企画した主な展覧会に「具体美術協会と芦屋、その後」(2025)、「今井祝雄—長い未来をひきつれて」(2024)、「art resonance vol. 01 時代の解凍」(2023)、「限らない世界／村上三郎」(2021)、「植松奎二 みえないものへ、触れる 方法—直観」(2021)、「芦屋の時間 大コレクション展」(2020)、「art trip vol.03 in number, new world / 四海の数」(2019)、「小杉武久 音楽のピクニック」(2017) 他多数。2025 年 4 月より武蔵野美術大学が運営する gallery αM のゲストキュレーターとして、αM プロジェクト 2025-2026 「立ち止まり振り返る、そして前を向く」を企画している。

野原万里絵 アーティスト / 画家

絵画の制作過程に焦点を当て、線や面を描くための定規や型紙を自作したり、多数のドローイングを起点とした絵画を描く。近年は、ワークショップを日本各地で開催し、協働制作による作品も発表。他者と自身を行き来しながら制作することで、絵画の新たな可能性を模索している。

近年の主な展覧会に、『art resonance vol. 01 「時代の解凍」』芦屋市立美術博物館（兵庫/2023）、『VOCA 展 2022 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—』上野の森美術館（東京/2022）、『大阪府 20 世紀美術コレクション展「彼我の絵鑑」』大阪府立江之子島文化芸術創造センター（大阪/2021）、『個展「埋没する形象、組み変わる景色」』国際芸術センター青森（青森/2020）他多数。

※ A-Lab Exhibition Vol.11 『個展「□△も積もれば○となる」』(2017) 出展作家

4 応募方法

「A-LAB Artist Gate' 26 応募用紙」に必要事項を記入の上、下記受付期間内にメールまたは持参・郵送にて提出

<受付期間>

令和 8(2026)年 1 月 5 日(月)から 2 月 28 日(土)まで

<提出先>

持参・郵送：(公財)尼崎市文化振興財団 美術課 美術担当

〒660-0881 尼崎市昭和通 2 丁目 7-16 3F

時間：午前 9 時～午後 5 時 30 分、火曜日休館

メール：bunka@archaic.or.jp

5 提出書類・資料

以下の 2 点について、メールの場合は各 1 ファイル、持参もしくは郵送の場合は各 2 部を提出

(1) A-LAB Artist Gate' 26 応募用紙

(2) これまでの作家活動がわかる資料（ポートフォリオ 20 頁以内、作品データ等）

- ※資料例 ・過去に制作した作品や展示風景の記録写真（または画像データ）
 ・過去に参加した展覧会やイベントのフライヤー等
 ・その他活動内容がわかるもの

※原則として、ご提出いただいた資料は返却できません。

※添付ファイルが 5MB 以上になる場合、ファイルアップロードサービス等を利用し送付ください。

6 スケジュール（予定）

令和 8(2026)年 2 月 28 日(土)	応募締め切り
3 月中	出展者決定、選考結果通知
4 月 ～ 6 月	会場下見・打ち合わせ
6 月中	フライヤー及びプレスリリース掲載情報提出
7 月 ～ 9 月	展示プラン提出
10 月 1 日(水) ～ 10 月 22 日(木)	搬入設営・インタビュー動画撮影等
10 月 24 日(土) ～ 12 月 6 日(日)	展覧会・イベント
12 月 7 日(月) ～ 12 月 14 日(月)	搬出

7 イベント

<トークイベント>

選考員の方々をお招きし、展示作品について感想や質疑、また出展作家から選考員への質問などを行うイベントを予定。＊開催日時は 6 月までに調整し、決定します。

8 問い合わせ先

（公財）尼崎市文化振興財団 美術課 美術担当

〒660-0881 尼崎市昭和通 2 丁目 7-16 3F

電話：06-6487-0806

FAX：06-6482-3503

メール：bunka@archaic.or.jp

時間：午前 9 時～午後 5 時 30 分

休館日：火曜日

※ A-LAB の運営は尼崎市からの受託事業です。

※参考

<展覧会出展条件>

- ・出展謝礼は 100,000 円（税込）の予定です。
- ・展示場所は出展作家と調整の末、主催者が決定します。
- ・作品制作費・交通費（打ち合わせ、下見時も含める）は自己負担となります。
- ・展示壁面の造作や展示什器類、その他展示に必要な消耗品等が必要な場合はご相談ください。

- ・ 設営期間中のインタビュー動画撮影、展覧会期間中のトークイベントへの参加にご協力ください。
- ・ 展覧会期間中は出展作品の販売はできませんのでご了承ください。

＜A-LAB について＞

使用されていなかった公民館をアート発信基地にリノベーションし、平成 27 (2015) 年秋にオープン。若手～中堅アーティストの展覧会を開催。アーティストの発表・創作の場として活用することで、子どもたちを始めとする市民が芸術に気軽に触れ、体験できる身近な施設を目指しています。

HP: ama-a-lab.com/